

駅周辺まちづくり部会 まちづくり課題シート

抜粋

第1回駅周辺まちづくり部会

令和4年9月21日(水)

【目次】

- ①補助133号線(目白通り北側)整備後の沿線のまちづくり
- ②補助133号線(千川通り南側)整備後の沿線のまちづくり
- ③中村橋のまちの魅力向上につながる連携の検討
- ④西武池袋線北側沿線道路の整備
- ⑤中杉通り(千川通り北側)の整備
- ⑥中杉通り(千川通り南側)の整備
- ⑦補助133号線整備後のバス路線再編
- ⑧タクシー等の乗降場の整備
- ⑨美術館、商店街、駅をつなぐ動線を一体的な景観として演出
- ⑩商店街等と連携したイベントや活動の実施

駅周辺公共交通の改善

⑦補助133号線整備後のバス路線再編

課題

中村橋駅を始発・終点とするバス路線があるが、現状、車両の転回を行える交通広場がない。そのため千川通りと住宅街を通過して転回せざるを得ず、これにより危険となっている箇所がある。



<バスの路線と停留所>



- ➡ 現行は中村橋駅を始発・終点とする路線が3つあり、千川通りと住宅街を通過して反時計回りで転回している。
- ➡ このルートだと、バス停は千川通り南側に配置される。
- ➡ 千川通り南側は歩道が狭く、バス待ちの人と歩行者、自転車との混雑により危険が生じている。
(交通バリアフリー基本構想の中で触れられている)

駅周辺公共交通の改善

⑦補助133号線整備後のバス路線再編

◆経緯

①交通広場整備の検討

【駅前高架下への整備を検討】

西武池袋線高架化に伴い、交通広場を駅前に整備できるかを検討 → 整備するための条件が整わず断念

②バスルート変更の検討

【千川通り南側にバス停を配置しないバスルートの検討】

- ・ 現行ルートを逆回り(時計回り)にしたルート(バス停を千川通り北側に移設)(右図赤)

→ 過去にこのルートで運行し、中杉通りで渋滞が発生した経緯があり、地元商店会の合意形成が難しく断念

- ・ 中村西小前を通るルート(バス停を千川通り北側に移設)(右図青)

→ 児童の安全が最優先であり、教育委員会やPTAの合意形成が難しく断念

- ・ 133号線へ迂回し、転回場を確保して千川通りへ戻るルート(バス停を133号線沿いへ移設)(右図黄)

→ 整備するための条件が整わず断念

③バス停の移設

平成20年の補助133号線(千川通り～目白通り)の整備に伴い、交差点内に位置していたバス停について、交通上の支障となることから移設した。(右図緑)

